

## 第3回ワークショップで出た主な意見と区からの回答 ～西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討～

第3回ワークショップ（6月22日開催）で皆さまからいただいたご質問・ご意見の中で、特に多くの方からいただいたご意見について回答します。

- Q①** 大宮前保育園は、ゆうゆう館を併設できるように定員を減らすことはできないか。また、工事期間中の代替場所を確保しないで済むように在園児を他の保育園に振り分けることはできないか。
- A①** ○仮にゆうゆう館の洋室1程度の面積（約50㎡）の面積増を保育園の定員減で賄う場合、約20人程度（各歳児4人程度）の定員減が必要となり、待機児童が発生する可能性があります。また、少子化の進展の一方で共働き世帯数は増加しており、将来的な保育の需要は「増加傾向の鈍化」に留まると見込まれます。さらに、仮に保育需要が縮小し私立保育園の撤退が生じた場合は児童の受け入れ先を確保する必要があります。これらのことを踏まえると、定員を削減することは困難です。
- 入所希望者は各家庭の生活圏・通勤圏や兄弟関係等の状況を考慮して、入所希望の保育所を決定しています。また、在園児については、友人や保育士等との人間関係が既に構築されています。そのため、工事期間中に在園児を他の保育園に割り振ることは、保護者、園児共に大きな負担になることから、現実的ではないと考えています。